

Title	スワヒリ&アフリカ研究 第25号 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	スワヒリ&アフリカ研究. 2014, 25
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/72988">https://hdl.handle.net/11094/72988</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 編集後記

1964年に日本アフリカ学会が創立され、今年は創立50周年記念行事が行なわれます。現在、5月末に予定されている学術大会までに準備すべく、この50年を振り返るための作業が様々に行なわれています。私も、50周年を記念して出版される『アフリカ学事典(仮)』の編集作業に携わり、改めて日本のアフリカ地域研究の奥深さと広がりを実感している次第です。

昨年3月末に任期満了で帰国されたアシャ・ハミス・ハマド先生に代わって、4月にザイナブ・カッス・イサク先生が着任されました。大阪外大時代の初代スワヒリ語外国人教師、サイド・アフメド・モハメド・ハミス先生から数えて6人目ですが、これまでで最も学生に近い年齢の先生です。お若いですが学問に対する態度はとて厳しく、学生たちにも真摯に、そして厳格に向き合っています。授業で「妥協しない姿勢」を見せて下さっていますし、学生一人ひとりの性格も理解しようと努力して下さっているので、学生たちもすぐにザイナブ先生を信頼するようになりました。スタッフの交替等の変化は時にストレスを産みますが、スワヒリ語専攻では「問題なし」と胸を張れます。

さて、本誌25号も無事に発行することができました。発行時期を早めた関係で締切も大幅に前倒しになり、驚かれた方や「投稿したかったのに間に合わなかった!」と思われた方も多いかも知れません。また、投稿依頼のご連絡もアフリカ学会のメーリングリストを用いて行なったため、学会に所属しておられない方々にはご不便をおかけしたかも知れません。こちらとしても、原稿が十分に集まるかどうか若干の不安を抱えていましたが、目次をご覧いただければおわかりのように、分野も多岐にわたり、重鎮から若手まで多くの方からご投稿いただき、「四半世紀記念」にふさわしい号となりました。ご投稿下さったみなさん、本当にありがとうございます。また、今号は大阪大学大学院言語文化研究科から助成金をいただいて発行することができました。この場を借りてお礼申し上げます。

次号も今号と同じく、締切は10月15日、発行時期は2月下旬といたします。昨今の大学や研究機関の置かれている状況を考えますと、教育研究以外の雑事に時間を取られ過ぎて論文執筆もままならないと思いますが、日本のアフリカ地域研究のますますの発展に寄与するためにも本誌発行を鋭意続けていきますので、みなさまからのたくさんのご投稿を心よりお待ちしております。

(2014年2月17日 T)

---

2014年2月25日発行

### スワヒリ&アフリカ研究 第25号

発行 大阪大学大学院言語文化研究科 スワヒリ語・アフリカ地域文化研究室

〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1

編集 米田信子、小森淳子、竹村景子

印刷 株式会社アイジイ

---

ISSN 0915-8758